

成田シニアアンサンブル青空

「秋の音楽会」

成田シニアアンサンブル青空は令和六年十一月一日（金）、「秋の音楽会実りの時をともに」を成田市大栄公民館にて開催いたしました。当日雨の心配もある中、百六十名の方々がご来場くださいました。今回は気軽に聴いていただける曲を多く用意し、この日のために練習を重ねて参りました。

十四時開演に向け、早くからお越しくださったお客様も多く、第一部では「パリの空の下」をご挨拶の曲としてご披露し、海外の映画曲、紀曲行番組のテーマ曲、ポップスなどを演奏、外国旅行に行つたつもりで、しばし遠い異国情緒あふれる町並みを想いながら楽しんでいただきまし

た。第二部は日本の映画曲から始め、続く童謡唱歌二曲はお客様にもご一緒に盛り上りました。おりしも昭和三編曲「恋の季節」ではお客様からも一緒に歌つていただき、会場もおおいに盛り上りました。お聞きし、最後のポールモーリアのメドレーは、アンケートの中で大好きな曲だとあり、アンコールで締めくくり、秋の音乐会は無事終了いたしました。

晚秋の午後、ご来場の皆様の今

年の出来事に演奏曲が重なり、肩年ひとときでありましたら、私たちも嬉しい限りです。そして、皆様に嬉しいお気持ちで聴いていただいなるひととします。また、実り多き日々になりますようにと、団員一同願いながら演奏した音乐会でした。

佐々木景子
成田シニアアンサンブル青空



千葉シニアアンサンブル・それいゆ

第8回定期演奏会

去る11月10日（日）千葉市民会館大ホールで第8回定期演奏会を開催しました。これまで隔年開催でしたが、もつとお客様に演奏をお届けする機会を増やしたいとの思いから、今年から毎年実施することにしました。

どんよりした曇り空で肌寒い生憎の天気でしたが、開場前から多くのお客様にお越しいただきました。お待ちいただいていた間、ロビイでフルート三重奏などミニコンサートをお楽しみいただきました。荒野の七人、マツケンサンバ、函館の女、サライ、東京ブギウギなどの新曲を含めてクラシックから演歌までバラエ

ティーに富んだ全15曲を披露、息切れすることなく全ての曲の魅力を伝えることができました。初めての試みとして「川の流れ」の演奏を行いましたが、アントン流れた曲の1位が「川の流れのように」だったには驚きました。

千葉シニアアンサンブル・それいゆ
代表 藤山光正

